

まち・ひと・しごと創生

総合戦略

—美しい水と緑と風に包まれ 元気で豊かに光るまち—



平成28年2月

香南市

目次

I. 総合戦略の位置づけと基本的な考え方	1
(1) 総合戦略の位置づけ	1
(2) 基本的な考え方	1
(3) 総合戦略の計画期間	1
II. 総合戦略の効果的な推進	2
(1) 戦略策定及び推進にあたっての視点	2
① 総合的な仕組みを構築・強化する	2
② 政策群同士の連携を図ることで、相乗効果を生み出していく	2
③ 成果(アウトカム)重視による数値目標とPDCAサイクルによる徹底管理とバージョンアップ	2
④ 多くの主体の参画・連携により取組みを進めます	2
(2) 総合戦略の進捗管理体制とPDCAサイクルによる視点	3
① 進捗管理体制	3
② PDCAサイクルの視点	3
III. 基本目標と基本的方向、具体的な施策	4
(1) 地方創生に向けた基本目標	4
(2) 基本目標と基本的方向	5
基本目標1 魅力あふれる産業の振興と安定した雇用を創出する	6
(1) 足腰を強め、「地力」を高める	8
(2) 新たな産業づくりに挑戦する	14
(3) 分野を超えた産業間の連携を強化する	18
基本目標2 新しい人の流れをつくる	21
(1) 移住・定住促進のためのしくみづくり	22
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	24
(1) 人生をトータルでサポートする体制づくり	25
(2) 子ども、子育て支援・環境の充実支援	26
基本目標4 時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる	28
(1) 協働のまちづくり推進	29
(2) 災害に強いまちづくり	30
(3) 交流人口拡大	31
(4) 大学との連携	32

I. 総合戦略の位置づけと基本的な考え方

(1) 総合戦略の位置づけ

【国の総合戦略における4つの基本目標と政策5原則】

国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則を基本として、香南市における人口減少、地域格差拡大、経済的低迷などの喫緊の課題解決に向けた、まち・ひと・しごとの創生を図る好循環の確立を目指します。

4つの基本目標と政策5原則

- ① 地方における安定した雇用を創出する
- ② 地方への新しい人の流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【政策5原則】 自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視

(2) 基本的な考え方

香南市においては、「美しい水と緑と風に包まれ、元気で豊かに光るまち」の形成を目標に、今後進めるべき施策方針を総合的に取りまとめた「香南市振興計画(平成19年～平成28年度)」が策定されており、現在は、後期基本計画の、平成26年度を始期とした最終段階である、第8期実施計画の執行段階となっております。

これまで、効率的な計画の推進、成果重視の計画推進を行ってきており、平成18年の合併以来、ようやく市民の間では香南市民としての自覚や誇りも生まれ、名実ともに一つのまち「香南市」が形成されつつあります。

その一方で、連携のとれた都市構造の側面、都市機能や市民生活における地域格差の問題など、前項の全国的な課題とも相まって、香南市の今後の持続的な発展に向けては、解決すべき課題が残されていることも事実です。

こうした背景を受け、香南市では、「香南市まちづくりグランドデザイン」、「香南市産業振興計画」、「人生支援計画」など、近年の新たな課題にも積極的に対応し、より実効性の高い計画を策定し、推進に取り組んでいるところです。

「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、香南市の持続的な発展に向け、「香南市まちづくりグランドデザイン」、「香南市産業振興計画」、「人生支援計画」の各取り組みについて、プライオリティとその効果をにらみ、横断的かつ有機的に連携することで、確実に目標を達成するための総合戦略計画として取りまとめるものです。

(3) 総合戦略の計画期間

平成27年度から平成31年度までの5箇年計画とします。

II. 総合戦略の効果的な推進

(1) 戦略策定及び推進にあたっての視点

総合戦略の策定とその推進にあたっては、香南市において、優先的に取り組むべき課題、及び、国の4つの目標及び政策5原則の趣旨を十分にふまえ、実効性の高い戦略策定を行うとともに、着実かつ確実に推進するための体制をととのえ、進捗状況を管理し、着実に実行して参ります。

総合戦略の編成は、国の総合戦略、高知県における総合戦略の内容及び目標について勘案し、整合を図りつつ作成します。

① 総合的な仕組みを構築・強化する

産業振興を図り、雇用を生み、地域格差を解消する取り組みにおいては、ある特定の分野だけに政策・施策を集中させるのではなく、多様な分野にわたる取組みと、川上から川下までの総合的な仕組みが不可欠であると考えます。

こうした、取組みの仕組みを施策のバージョンアップを図りながら、構築・強化してまいります。

② 政策群同士の連携を図ることで、相乗効果を生み出していく

例えば、担い手の育成・確保と移住促進、産業振興と観光振興など、相互に連携を図ることにより、大きな相乗効果を得ることができると考えます。

このため、分野を超えた産業間の連携という観点からの政策を取入れ、進めてまいります。

③ 成果(アウトカム)重視による数値目標とPDCAサイクルによる徹底管理とバージョンアップ

香南市では、振興計画、産業振興計画など、様々な政策を推進するにあたって、成果(アウトカム)を重視し、具体的な数値目標を設定した上で、取組み成果をきめ細かく点検し、バージョンアップを図ってまいりました。

本総合戦略の推進にあたっては、具体的な数値目標設定による徹底した進捗管理、及びPDCAサイクルによる点検と検証により、着実な目標の達成を目指します。

④ 多くの主体の参画・連携により取組みを進めます

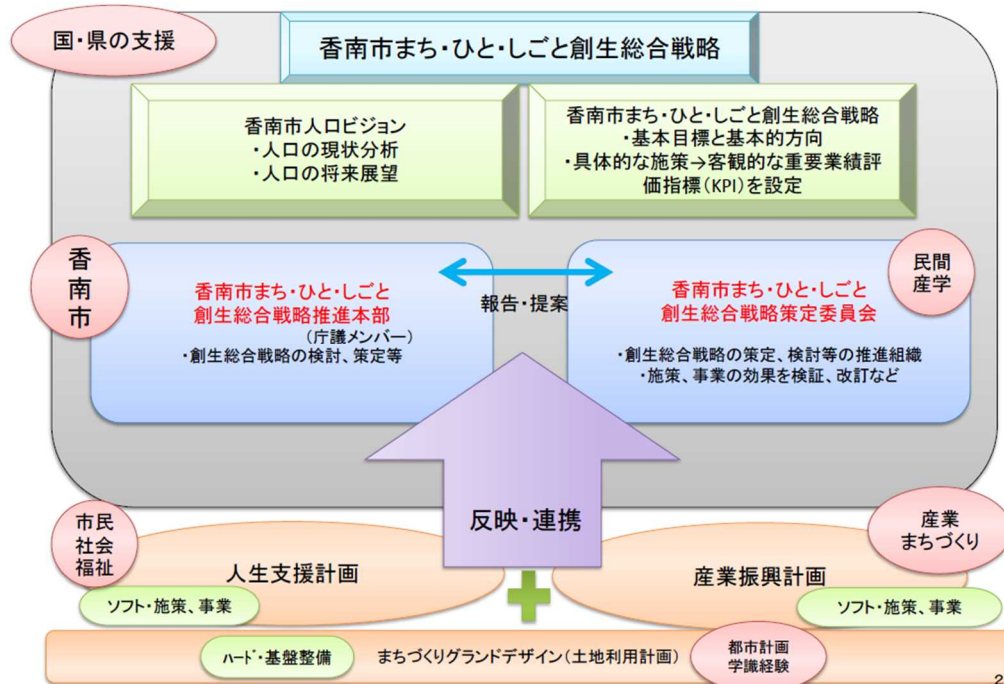
戦略策定のプロセスにおいては、住民及び産官学に加えて、金(金融機関)言(地元報道機関)等、多くの主体の参画を図り、推進組織を設置して行います。

また、市民の皆様や事業者の方々に、香南市の現状や目指すべき方向・目標について、しっかりと説明を行い、共有していくこととします。

(2)総合戦略の進捗管理体制とPDCA サイクルによる視点

①進捗管理体制

「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部(庁議メンバー)」と外部委員で構成する「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会(住民産官学金言)」において策定を行い、点検・検証、必要に応じて施策見直しを行います。



②PDCAサイクルの視点

4つの基本目標を大きな政策テーマとして定め、実現すべき成果に係る5年後(平成31年度)数値目標を設定し、政策テーマごとに講ずべき施策の基本的方向と具体的な施策を記載します。

各施策においては、効果を客観的に検証できる指標<重要業績評価指標(KPI) Key Performance Indicators>として、5年後の(平成31年度)の目標を設定するとともに、各施策・事業ごとにPDCAシートにより進捗状況及び効果を点検、検証します。

また、年度毎においても、取り組み状況を点検・検証を行い、必要な対策の追加、事業の見直しを行ってまいります。

PLAN(計画)、DO(実施)、CHECK(評価)、ACTION(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで継続的な改善を推進

- ①各施策・事業ごとに、PDCAシートにより点検・検証を行う
- ②政策テーマごとに施策間の有機的な連携及び効果確認
- ③政策テーマごとに目標達成に向けた状況の確認、及びフォローアップ

III. 基本目標と基本的方向、具体的な施策

(1) 地方創生に向けた基本目標

総合戦略の策定とその推進にあたっては、香南市において、優先的に取り組むべき課題、及び、国の4つの目標及び政策5原則の趣旨を十分にふまえ、実効性の高い戦略策定を行うとともに、着実かつ確実に推進するための体制をととのえます。

香南市は、以下の4つを総合戦略の基本目標とし、まち・ひと・しごとの創生を図る好循環を確立していきます。

4つの基本目標と政策5原則	香南市総合戦略における基本目標と5つの視点
① 地方における安定した雇用を創出する	1. 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する 「地力」の強化、「新たな産業づくり」への挑戦、「分野を超えた産業間の連携」の推進による雇用の創出
② 地方への新しい人の流れをつくる	2. 新しい人の流れをつくる 「移住・定住促進」しくみづくり
③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 「人生をトータルでサポート」することによる全世代を通じた支援
④ 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	4. 時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心なくらしをまもる 小さな拠点整備、「防災性」向上
【政策5原則】 自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視	【戦略策定にあたっての視点】 ① 地域の強みを最大限生かすため、土地利用をふまえた横断的なテーマにより、総合的な仕組みを構築・強化する ② 政策同士の連携による相乗効果、実効性を高める ③ 成果(アウトカム)重視の目標設定、PDCA サイクルにより、スパイラルアップと継続的な戦略強化 【推進にあたっての視点】 ④ 民間・産学、庁内の連携協議により取組みを進める ⑤ 各地区の連携・ネットワークの強化による知恵の結集

(2)基本目標と基本的方向

基本目標	基本的方向
<p>1. 魅力あふれる産業を振興し 安定した雇用を創出する</p> <p>【数値目標】 ・各分野における産出額等</p>	<p>(1)足腰を強め、「地力」を高める</p> <p>(2)新たな産業づくりに挑戦する</p> <p>(3)分野を超えた産業間の連携を強化する</p>
<p>2.新しい人の流れをつくる</p> <p>【数値目標】 ・人口の社会増減 ・県外からの移住者数</p>	<p>(1)移住・定住促進のためのしくみづくり</p>
<p>3. 若い世代の結婚・出産・子育ての 希望をかなえる</p> <p>【数値目標】 ・合計特殊出生率 ・婚姻届出数</p>	<p>(1)人生をトータルでサポートする体制づくり</p> <p>(2)子ども、子育て支援・環境の充実支援</p>
<p>4. 時代に合った地域をつくり、地域 の連携により安心な暮らしをまもる</p> <p>【数値目標】 ・自治会、協議会結成率 ・自主防災組織結成率</p>	<p>(1)協働のまちづくり推進</p> <p>(2)災害に強いまちづくり</p> <p>(3)交流人口拡大</p> <p>(4)大学との連携</p>

基本目標 1

魅力あふれる産業の振興と安定した雇用を創出する

1-1. 【基本目標1】の数値目標

★各分野における産出額等の増加を基本目標1の数値目標とします。

数値目標		基準値(H26)	目標値(H31)
農業	新規農業者数	7人/年	10人/年
林業	森林境界明確化面積	188ha	600ha以上
水産業	沿岸漁業総生産量	1,313トン	1,200トン以上維持
商工業	製造品出荷額	407億円	500億円以上
観光	観光施設入込客数	93万人	100万人以上

1-2. 基本的方向

香南市は産業振興計画の推進によって目指す将来像を「地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市」としています。

このイメージには、香南市の更なる活性化を進めるため、第一次産業をはじめとした『地産』を強化し、『自立』できる持続可能な産業構造を創造すると共に、『外貨』獲得に向けた付加価値化に取り組むことで、「産業の拡大を図りたい」。このことにより「次世代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市にしていきたい」という思いが込められています。このイメージに基づいて、以下の基本的方向により取り組みます。

①足腰を強め、「地力」を高める

- 農業の分野では、担い手の確保、生産基盤強化により、一次製品の安定生産の体制づくり、生産量増加、市の総生産額の増加へとつなげていきます。
- 林業の分野では、生産性向上と森林の保全・活用に加えて、森林資源を活用した所得の向上と雇用の創出を図ります。
- 水産業分野では、生産基盤充実や後継者育成支援、観光産業との連携を推進し、資源回復と経営力の強化により稼げる水産業を目指します。
- 農業・水産業における加工、流通、販売体制を強化するために、水産加工品の付加価値向上を図り、農業、水産業における加工・流通・販売体制を強化、香南市ブランドの展開や販路拡大を図ります。

②新たな産業づくりに挑戦する

- 商工業の分野では、既存企業への育成支援、地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを推進するなど、ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わいを創出します。
- 6次産業化による新産業の創出では、生産者が付加価値を生み、産業を活性できる仕組みづくり、及び関係機関と連携し、補助事業の活用等を含めて支援していきます。
- 観光のまちの育成では、観光地や施設を訪れた人が地域交流を楽しむ機会づくりや受入体制の充実、また、安心して楽しむための整備を推進するとともに、地域の情報発信力強化に取り組めます。

③分野を超えた産業間の連携を強化する

- 6次産業化による*地産地商の徹底では、生産物の出荷価格の維持、付加価値化による生産物の出荷価格の安定。食糧の安定供給、地場製品の生産の維持・継続を図ります。
(* 地産地商: いわゆる地産地消だけでなく、地域で生産される生産物や農水産加工品等を、地域が一体となって売り込むという考え方(産業振興計画分野を超えた連携テーマより)
- 観光拠点形成とネットワーク構築では、地域資源の再発見を進めるとともに、各観光施設・交流拠点のネットワーク化を図り、観光資源を点から面へと一体化した情報提供や、観光協会などの支援を促進します。
- 産業人材の育成・確保では、ハローワークや企業など、さまざまな分野との連携を強化し、就労機会の拡大に努めるとともに、県と連携し産業振興等につながる人材育成の実施を支援していきます。

1-3. 具体的施策と重要業績評価指標(KPI)

(1) 足腰を強め、「地力」を高める

(1) 農業の振興

香南市の農業を取りまく経営環境は、長引く不況や消費者の低価格・節約志向で、販売価格が低迷に加え、生産農家の減少や高齢化、後継者不足による労働力の確保が難しくなっています。

一方で、地産地消を推進し生産者と消費者の理解を深め、安心・安全な農作物を供給するなど、食への関心は高まっています。

農業の振興においては、担い手の確保と生産基盤の強化により、1次製品の安定生産の体制づくり、生産量の増加、市の総生産額の増加へとつなげていきます。

① 農業生産基盤の充実

農業生産基盤の整備、基幹産業である農産物の品質及び生産量の拡大を図ります。

<KPI>

■ 事業計画箇所進捗率

H31年度 100% (H26実績 7%)

(具体的な事業)

・ 農業基盤整備促進事業

頭首工更新7箇所、自動転倒ゲート4箇所、水門1箇所、水路改修3箇所 等

② 治水・利水整備の促進

計画的な河川改修に加え、水路の整備・改修し、農地への安定した水量の確保を図り、生活基盤全体の強化を図ります。

<KPI>

■ 事業計画箇所進捗率

H31年度 100% (H26実績 89%)

■ 農業集落排水の加入率

H31年度 62.0% (H26実績 60.9%)

(具体的な事業)

・ 工業用水条件整備事業(水路・道路等整備265箇所)

・ 農業集落排水事業(7地区) 等

③担い手対策の促進

農業経営の改善や認定農業者の育成、新規就農者への支援強化、また施設園芸ハウスの整備や環境制御技術の導入を支援することにより、農業所得の向上や農業が魅力ある働く場とすることで、農業の振興を図ります。

<KPI>

■施設園芸ハウス整備面積	52,500 m ² (H27～H31 累計) (H26 実績 19,869 m ²)
■環境制御技術導入農家数	160 戸(H27～H31 累計) (H26 実績 9 戸)

(具体的な事業)

- ・園芸用ハウス活用促進事業
- ・新規就農研修支援事業 等

④農産物ブランド化の推進と加工品の開発

農産物の知名度を高め、「消費者に知ってもらう」ために、ミカンやニラ、県の産業振興計画を活用しているエメラルドメロンといった、様々な品目のブランド化を促進し、市場での有利販売を目指す。加工品の開発にあたり、各種団体と連携し、協議検討を行います。こうした取り組みにより、農業生産性の向上と販路拡大や農産品加工販売拠点の創出による農業所得の向上を図り、就農人口の増加を促し、地域で暮らし稼げる農業の振興を図ります。

<KPI>

■エメラルドメロン販売額	H31 年度 450,000 千円 (H27 実績 447,000 千円)
■ニラ販売額	H31 年度 1,360,000 千円 (H27 実績 1,250,000 千円)

(具体的な事業)

- ・産業振興推進総合支援事業 等
- *高知県産業振興計画 物部川地域アクションプラン
 - No.3「エメラルドメロンの販売力向上対策」
 - No4 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」

⑤消費者の安全安心志向への対応

香南市は、食の安全や環境保全を意識した減農薬や有機栽培などによる、環境保全型農業を促進します。また、学校給食への地元産食材の使用率を高め、必要とされるものを安定的に提供できるように、市場・直販所・栄養教諭等と協議をする「香南市地産地消推進協議会」のもと、米や野菜の貯蔵施設を整備し、生産・販売・流通体制を確立しながら地産地消を推進します。

さらに、「香南市食育推進計画」に基づき、地産地消にも取り組んでおり、飲食店や病院・福祉施設等での地産地消も連携して推進します。

<KPI>

■学校給食への市内産野菜(主要品目)の使用率	H31年度 30% (H26実績 20%)
■市内施設への供給先の確保	H31年度 1箇所 (H26実績 0箇所)

(具体的な事業)

- ・地産地消推進協議会補助事業
- ・環境保全型農業推進事業 等

⑥中山間農地の保全と活用の促進

中山間地域等直接支払制度の活用など、農業生産条件が不利な地域においても支援強化を行うことで、遊休農地の活用を図ります。

イノシシ・シカ・カラス等の有害鳥獣による農作物・森林への被害は年々増加しており、農林業への被害は深刻さを増す状況にあります。

狩猟期以外に有害鳥獣捕獲報奨金を交付するなど、捕獲を行う担い手の育成に努めるとともに、防護柵設置の啓発を行い、地域での有害鳥獣被害対策に努めます。

<KPI>

■有害鳥獣捕獲数	2,000頭羽(H27～H31累計) (H26実績 349頭羽)
----------	----------------------------------

(具体的な事業)

- ・中山間地域等直接支払事業
- ・有害鳥獣対策事業 等

(2) 林業の振興

香南市の林業においては、輸入木材の増加や木材需要の減少等による長期の価格低迷などにより、採算性が見込めないため、林業従事者の生産意欲の減衰を招いています。また、林業の担い手の高齢化など、厳しい状況により森林の適切な管理が停滞しており、森林の持つ水源涵養機能や国土保全機能が失われつつあります。

林業の振興においては、生産性向上と森林の保全・活用に加え、森林資源を活用した所得の向上と雇用の創出を図ります。

①森林の多面的な利活用の促進

林道・作業道などの維持管理と整備推進、人工林間伐の支援を強化など、林業の生産性の向上と森林の保全・活用を図ります。

複数の所有者にまたがる、ひとかたまりの森林の一体的な整備など、計画的・効率的な林業経営を推進します。

<KPI>

■搬出・切捨間伐 作業道	250ha 13,500m (H27～H31 累計) (H26 実績 35ha 2,400m)
--------------	--

(具体的な事業)

- ・団地化及び境界明確化事業(舞川・撫川)
- ・緊急間伐総合支援事業
- ・水源の森整備事業 等

*高知県産業振興計画 地域アクションプラン No.11「民有林における素材の増産」

②森林の活用(木質バイオマス利用促進)

化石燃料の代替資源として、木質バイオマスの普及促進による循環型社会目指し、森林資源を活用した所得の向上と雇用の創出を図ります。

<KPI>

■農業ハウス用ペレットボイラー数	H31 年度 現状維持 (H26 実績 2 基)
------------------	--------------------------

(具体的な事業)

- ・木質バイオマス利用促進事業 等

*高知県産業振興計画 物部川地域アクションプラン No.12「木質バイオマスの活用に向けての取組」

(3) 水産業の振興

香南市の水産業において、漁業経営は、輸入の増加や、食生活の変化などによる魚価の低迷、燃料費の高騰、漁獲量の減少により不安定なものとなっており、漁業従事者の高齢化による、担い手不足とあわせて、漁港施設・水産機能施設の老朽化などが問題となっています。

水産業の振興においては、生産基盤の充実や後継者育成支援、栽培漁業・体験型観光漁業等の観光産業との連携を推進し、資源回復と経営力の強化により稼げる水産業を目指します。

① 漁港の改修・整備等の推進

漁港施設の老朽化に伴う改修工事を行い、計画的に漁港の保全・改修整備を推進します。

<KPI>

■ 漁港施設の保全、改修整備率	H31年 43% (H26実績 7%)
-----------------	---------------------

(具体的な事業)

・水産物供給基盤機能保全事業 等

② 漁業経営の基盤強化

効率的かつ安定的な漁業経営を実現するため、経営意欲のある漁業者が創意工夫を活かし、自らの取り組みによる計画的な経営改善の仕組みを整備できるよう、漁業活動の維持、向上等に必要なソフト事業およびハード事業に取り組む事業主体を支援します。

<KPI>

■ 水産機能施設件数	H31年度 12件 (H26実績 8件)
------------	----------------------

(具体的な事業)

・漁業生産基盤維持向上事業 等

③ 漁場の保全

漁業者等が中心となって取り組む藻場等の保全活動組織への支援など、水産資源生息の場の修復や漁場清掃をはじめとする取り組みを推進し、漁場生産力の回復を図ります。

<KPI>

■ 除去地区の海藻類育成被度	H31年度 70% (H26実績 63%)
----------------	-----------------------

(具体的な事業)

・水産多面的機能発揮事業 等

④観光漁業の推進

地引き網や釣り船など観光漁業の促進、滞在型観光の受入体制の整備などにより、多角的な漁業経営を支援し、にぎわいのある漁業・漁村を目指します。

<KPI>

■地引き網漁業経営体の維持	H31 年度 1 経営体 (H26 実績 1 経営体)
---------------	-----------------------------

(具体的な事業)

・滞在型・体験型観光推進事業 等

⑤水産加工品流通販売の推進

学校給食への水産加工品の利用拡大や地元消費に安定的に対応できる生産・販売・流通体制を確立し、地産地消を促進します。また、水産物の加工・商品化事業を強化することにより漁村の雇用を安定確保します。

<KPI>

■手結加工場の販売金額	H31 年度 1,500 万 (H25～26 実績(平均) 1,469 万)
-------------	---

(具体的な事業)

・水産加工品流通販売推進事業 等

*高知県産業振興計画 物部川地域アクションプラン No.13「シイラ等の加工商材活用」

(4) 農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化

水産加工品の付加価値向上の取組み、高知県漁協加工(市内支所)販売事業への支援とともに、市民への地産地消の普及啓発活動や学校給食と連携した食育活動を実施し、農業、水産業における加工・流通・販売体制を強化し、香南市ブランドの展開や販路拡大を図ります。

①地産地消の推進

学校給食への地元食材の使用率を高めるなど、地産地消を促進し、生産・販売・流通体制を確立します。

<KPI>

■手結加工場による給食センターへの食材 納入回数	H31 年度 11 回 (H26 実績 3 回)
-----------------------------	--------------------------

(具体的な事業)

・高知県漁協加工(市内支所)販売事業 等

*高知県産業振興計画 物部川地域アクションプラン No.13「シイラ等の加工商材活用」

②加工・流通・販売などの体制を強化

水産加工品についても、学校給食への利用拡大や地元消費に安定的に対応できる生産・販売・流通体制を確立し、水産物の加工・商品化事業の強化を図ることで、雇用の場確保につなげます。

<KPI>

■手結加工場の雇用人数 H31年度 4人 (H26実績 2人)

(具体的な事業)

・水産物加工における雇用促進事業 等

(2)新たな産業づくりに挑戦する

(1) 商工業の振興

香南市の商工業は、大型店舗への消費者の流出や、経営者の高齢化により、商店街に空き店舗が増えるなど、商業の沈滞、商店の経営悪化だけでなく、商店街が形成されたまちの活気や治安面にも影響を与えています。

地域経済の活性化、雇用創出の観点からの企業誘致の推進、地域の担い手である商工業者の減少を防ぐための既存企業への育成支援、また、地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを推進するなど、ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わいを創出します。

①企業誘致の促進

雇用の場の確保は、市の施策上重要な位置づけであり、県の産業振興計画や企業立地促進法県基本計画等を踏まえ、関係機関と連携を図りながら新規工業団地の開発に取り組みます。

<KPI>

■新規立地件数 H31年度 5件 (H26実績 0件)

(具体的な事業)

・香南工業団地企業立地促進事業
・工業団地造成事業 等

②既存企業の育成・支援

新規誘致企業はもとより既存企業を含めた各種助成制度の充実を図り、後継者の育成とともに、既存事業者の育成・支援を商工会と連携して促進します。

<KPI>

■企業等訪問回数 H31年度 10回/年 (H26実績 5回/年)

(具体的な事業)

・香南市企業誘致条例に基づく固定資産税助成金
・香南市緊急融資保証料補給金交付事業 等

③魅力ある商業地・商店街づくり

地場産業や観光施設との連携により、訪れる人に香南市をまるごと感じてもらうことのできる、魅力ある商業地・商店街づくりを促進します。コミュニティガイド事業で作成・配布した生活情報ガイドやコミュニティイベントの継続により、地域の消費者に対し生活の利便性を提供するとともに、商業者のまとまりを再構築し、商業者が一体となって取組を行い、地域内での顧客の増加、さらには地域外への商圈拡大を目指します。

<KPI>

■掲載店舗数	H31 年度 200 店 (H23 実績 130 店)
--------	-----------------------------

(具体的な事業)

・こうち商業振興支援事業(コミュニティガイド事業)等

*高知県産業振興計画 物部川地域アクションプラン No.18「香南市の商業振興への取組」

④空き店舗の活用

空き店舗を活用した拠点づくりを進めることにより、人が集い、互いに交流し、生活を楽しむ空間として、また、地域の情報発信地として活用し、魅力・にぎわいのあるまちづくりに取り組みます。

<KPI>

■空き店舗の新規活用件数	H31 年度 2 箇所(H26 実績 0 箇所)
--------------	--------------------------

(具体的な事業)

・経営発達支援計画に基づく空き店舗対策、事業承継 等

⑤新規企業の育成支援

国、県、信用保証協会の有利な融資制度活用、市内金融機関との情報交換、商工会各部会との連携強化を図りつつ、各企業の状況に対応した育成・支援を推進します。

<KPI>

■懇談会の開催	H31 年度 1 回/年 継続
---------	-----------------

(具体的な事業)

・商工会との連携事業 等

(2) 6次産業化による新産業の創出

農産物や水産物の生産だけでなく、流通・販売にも生産者が主体的に関わることで、生産者自身が付加価値を生み出し、産業を活性化できる仕組みづくりに取り組みます。特に、取り組む個人や団体、農協や関係機関と連携をして、補助事業の活用等を含めて支援していきます。

①魅力ある新商品の開発

香南市産のメロン、みかん、文旦などを使用した氷菓と焼き菓子類を製造・販売する加工所兼店舗を整備することにより、地域産品の利用促進による生産農家の所得の向上と、交流人口の拡大を図ります。

<KPI>

■売上金額	H31年度 51,431千円 (H26実績 0円)
-------	---------------------------

(具体的な事業)

・ヤ・シィ特産品(氷菓等)製造・販売施設整備事業(産業振興推進総合支援事業) 等

*高知県産業振興計画 物部川地域アクションプラン

No.26「地域産品を活用したヤ・シィパークを核とする地域の活性化」

(3) 観光のまち育成

香南市における、絵金蔵や県立のいち動物公園、ヤ・シィパーク、桜つつみ公園、手結内港周辺など個性豊かな観光スポットは、市民の憩いの場として、さらに県内外から多くの来訪者を集め、地元へ活力をもたらしています。また、冬の夏祭りや佐古祭りなど、地元商店街や地域の住民力を活かして行われる個性的なイベントも行われています。

観光地や観光施設を訪れた人たちが地域との交流を楽しむ機会づくりや受入体制の充実、また、安心して楽しむための整備を推進するとともに、地域の情報発信力強化に取り組みます。

①観光・交流の拠点の場づくりと市民参加

市の主要な観光地や観光施設における受入れ体制の充実や利便性の向上、集客増加に向けた環境整備などを推進します。

<KPI>

■物部川フェスタの集客数	H31年度 7,500人(H27実績 5,000人)
--------------	----------------------------

(具体的な事業)

・物部川流域三市観光交流事業 等

*高知県産業振興計画 地域アクションプラン No.24「広域観光の取組の推進」

②情報発信手段の効果的な活用

高知東部自動車道の整備状況に鑑み、観光施設周辺までを分かりやすく誘導し、周知するための観光案内板を設置します。また、近年急速に増加している外国人観光客の受入態勢を整えるため、主要観光施設に無料 Wi-Fi 環境を整備します。

<KPI>

■観光案内板設置数	H31年度 5件 (H26実績 3件)
■無料 Wi-Fi 設置数	H31年度 6件 (H26実績 0件)

(具体的な事業)

- ・観光案内板整備事業
- ・無料 Wi-Fi 環境整備事業等

③地域に親しむ観光の促進

観光レクリエーション施設や史跡などを紹介するボランティアガイドの育成・支援を推進します。また、塩の道・ウォーキングトレイル・サイクリング道などを骨格とした、徒歩や自転車でも地域の風土や歴史に触れ、魅力を満喫できる環境づくりを推進します。

<KPI>

■ボランティアガイド(案内人)数	H31年度 37人 (H26実績 30人)
■ウォーキングコース数	H31年度 5コース (H26実績 0コース)
■サイクリングコース数	H31年度 6コース (H26実績 0コース)

(具体的な事業)

- ・案内人会の活動支援事業
- ・ウォーキングロード及びサイクリングロード整備事業 等

④活性化に向けたあらゆる産業との連携強化

地域の景観や地場製品の買い物、地域内での飲食などを楽しんでもらうために、第1次産業や第2次産業、第3次産業との連携強化を図ります。

<KPI>

■「まるごと旨市」への参加事業所数	H31年度 37事業所 (H26実績 33事業所)
-------------------	---------------------------

(具体的な事業)

- ・市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業(カタログ販売) 等

*高知県産業振興計画 地域アクションプラン No.17「香南市の地場産品販売促進」

(3) 分野を超えた産業間の連携を強化する

(1) 6次産業化による地産地商*の徹底

地産地商*の拠点(直売所)の機能拡充、市内生産物等を活かした、魅力ある新商品の開発(食品加工等)、「生産」「加工」「流通」の支援などを行うことにより、消費者の安全で安心な農産物や水産物のニーズや食への関心の高まりに対応し、生産物の出荷価格の維持、付加価値化による生産物の出荷価格の安定、食糧の安定供給、地場産品の生産の維持・継続を図ります。

*地産地商:いわゆる地産地消だけでなく、地域で生産される生産物や農水産加工品等を、地域が一体となって売り込むという考え方(産業振興計画分野を超えた連携テーマより)

①地産地商の拠点(直売所)の機能拡充

地産地商の拠点となる、直売所の機能を拡充し、集客の増加を図ります。

<KPI>

■やすらぎ市、あぐりの里、天然色市場の集客数	H31年度 300,000人 (H26実績 295,705人)
------------------------	------------------------------------

(具体的な事業)

・地産地商の拠点(直売所)の整備 等
*高知県産業振興計画 地域アクションプラン No.8「加工品販売による夜須地域の活性化」

②地域内での創意工夫によるコミュニティビジネスの支援

地域の住民が主体となって、集落活動センターを拠点に新たな活動を通じて、集落同士の連携を強めるとともに、次世代の担い手を確保し、安全で安心していつまでも住み続けていける魅力ある集落を目指します。また、集落活動の維持や再生に向け、創意工夫ある取り組みにより将来自立できる集落活動を支援します。

<KPI>

■特産品の開発数	H31年度 4件 (H26実績 2件)
----------	---------------------

(具体的な事業)

・集落活動センター推進事業 等

(2) 観光拠点形成とネットワーク構築

地域資源の再発見を進めるとともに、各観光施設・交流拠点のネットワーク化を図り、観光資源を点から面へと一体化した情報提供や、観光協会などの支援を促進します。

①資源の再発見(価値化・付加価値化)

新庁舎の建設と周辺の新たな土地利用による活性化、赤岡市街地では都市観光ニーズを生かし、県東部観光の玄関口にふさわしい商業活性化拠点の整備、観光拠点としての三宝山の活用など、地域資源の価値を高め、観光拠点としての強化を図ります。

<KPI>

■新たな観光拠点	H31年度 1箇所
----------	-----------

(具体的な事業)

・三宝山観光拠点化基本構想磨き上げ検討事業 等

*高知県産業振興計画 地域アクションプラン No.22「体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信」

②観光・交流の場づくり(地域住民参加)

祭りや各種イベントへの市民参画、地元商店街との連携を図り、地域の特色づくりと活性化を図ります。

<KPI>

■イベント集客数	H31年度 60,000人 (H26実績 57,500人)
----------	-------------------------------

(具体的な事業)

・土佐赤岡どろめ祭り、絵金祭り、みなこい港まつり、冬の夏祭り 等

③観光旅行会社(企画)とのタイアップによる複数観光ルートの構築

近隣市町村やJR、ごめん・なはり線等と連携して観光ルート・コース等の開発や、充実した内容の情報提供に取り組むなど、高知中央広域定住自立圏や物部川流域との連携も強化しながら広域連携による観光振興を促進します。

<KPI>

■年間プロモーション活動	H31年度 6回 (H26実績 2回)
--------------	---------------------

(具体的な事業)

・地域まるごと旅行商品の開発販売及びブランドオペレーター機能構築事業 等

*高知県産業振興計画 地域アクションプラン No.22「体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信」

④物部川流域3市での観光振興

四国銀行と地域経済活性化支援機構(通称:REVIC)が出資して造成した「高知県観光活性化ファンド」を活用し、観光資源の磨き上げ及び観光地としての魅力の底上げを行い、物部川地域3市での観光振興を図ります。

<KPI>

■観光周遊活性化モデルの構築	H31 年度 モデル構築
----------------	--------------

(具体的な事業)

・高知県観光活性化ファンド 等

(3) 産業人材の育成・確保

雇用のミスマッチの改善に向けて、ハローワークや企業など、さまざまな分野との連携を強化し、雇用情報の提供促進を図り、就労機会の拡大に努めるとともに、県と連携し産業振興等につながる交流機会の創出、人材育成の実施を支援していきます。

①雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場(拠点)の整備

新卒者や失業者の働く場の不足及び雇用のミスマッチは、県外への人口流出や地域を担う人材の喪失につながっています。大学生等の市内企業への就職を促進、市への定着を図り、市内の中核企業等を担う人材を確保します。また、市内企業在職者に対する研修費用を支援し、必要な知識の習得やスキルアップに努めます。

<KPI>

■支援制度利用者数	H31 年度 20 人 (H26 実績 0 人)
-----------	--------------------------

(具体的な事業)

・未来人材育成奨学金支援助成金
 ・産業人材育成事業補助金 等

基本目標 2

新しい人の流れをつくる

2-1. 【基本目標 2】の数値目標

数値目標	基準値(H26)	目標値(H31)
人口の社会増減	社会減	社会増 120 人以上
県外からの移住者	3 組	年間 20 組以上

2-2. 基本的方向

香南市の人口は、増加傾向から減少傾向への転換期を迎えています。15 歳未満の割合は県内で最も高く、65 歳以上の割合は低いなど、県内では比較的若い世代が多く居住しています。

地区人口は、山間部、沿岸部に人口減少が顕著に現れ、市街地との地域格差が課題となってきました。

香南市を移住先に選んでもらえるよう、情報の発信や交流イベントを行うなど、市の魅力を発信するとともに、移住促進、空き家対策に向けた取り組みを進めます。

産官学や、県が取り組む移住促進対策とも連携し、移住希望者の視点に立ち、雇用や住まい、移住の受け皿に関する総合的な環境整備を行うとともに、香南市への新しい「ひと」の流れをつくり出すことを目指すため、以下の基本的方向により取り組んでまいります。

①移住・定住促進のためのしくみづくり

- 情報発信や移住相談を推進します
- 若者の出会いの機会や情報交換ができる場づくりや交流事業を支援します
- 地域内で経済の好循環を生み出す取組みを推進します
- 県と連携した取組みを推進し、また「移住フェア」などを活用して移住の促進を図ります

2-3. 具体的施策と重要業績評価指標(KPI)

(1) 移住のためのしくみづくり

(1) 移住・定住促進のためのしくみづくり

①「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信

香南市での生活の魅力を伝えるコンテンツの作成に加えて、ホームページやSNS等、多様な媒体を活用して、より多くの人に情報が伝わるPRの展開を推進します。

また「移住者ウェルカム支援」の推進を行い、香南市に移り住む方を応援し、受け入れ体制づくりを支援します。

<KPI>

■移住促進ホームページのアクセス回数	H31年度 2,000回
--------------------	--------------

(具体的な事業)

・移住コンテンツ作成事業
 ・移住ウェルカム支援事業 等

②若年層の交流・情報交換やイベント開催

商工会や観光協会、各種団体などと連携して、若者の出会いの機会や情報交換ができる場づくりや交流事業を支援します。

<KPI>

■若年層交流会参加者人数	H31年度 60人
--------------	-----------

(具体的な事業)

・若年層の交流(出会いの場)やイベント開催支援
 ・「移住フェア」開催 等

③産官学連携、人材育成による暮らしと産業が調和した自立地域への支援

現在、西川地区集落活動センターにおいて、集落機能の維持や地域活動の担い手確保等の課題解消のため、集落同士の連携等により地域の再生や自立の仕組みづくりを行う取り組みの促進を図ることを目的に様々な事業を展開しています。

高知大学地域協働学部と連携を図りながら、安心な暮らしと特産品を活用した収益事業等を展開することにより、一層の地域活力の向上を目指すことを支援します。

<KPI>

■集落活動センター設置数	H31年度 2箇所
--------------	-----------

(具体的な事業)

・産官学連携名産品販売拡大事業 等

④移住促進

香南市の中山間地域では、高齢化と人口減少が進行し、それに伴い空き家が増加しています。この空き家について実態調査を行い、空き家登録などしていただき、移住者向け住宅として活用し、移住促進を図っていきます。

また、国や高知県と連携を図り、県が取り組んでいる「移住・交流コンシェルジュ」など、県と連携した取り組みを推進していきます。

高知県と連携し、生涯活躍のまち構想(日本版 CCRC 構想)による、東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくりを検討します。

<KPI>

■空き家登録数	H31 年度 10 棟
---------	-------------

(具体的な事業)

- ・香南市空き家促進事業
- ・実態調査による空き家バンク登録
- ・「移住・交流コンシェルジュ」による相談対応
- ・お試し移住体験
- ・高知県と連携した生涯活躍のまちの検討 等

基本目標 3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

3-1. 【基本目標 3】の数値目標

数値目標	基準値(H26)	目標値(H31)
婚姻件数(人口動態調査)	144 件	154 件
合計特殊出生率(住民基本台帳)	1.44	1.60

3-2. 基本的方向

香南市では、「人生をトータルでサポートできる行政へ」という目標を掲げ、人生フローチャートという、人生を各5期(幼年期・就学期・成年期・熟年期・高齢期)に分けて、市民に分かりやすい支援策の紹介を行っております。

これを引き継ぎ、長期将来に向け、市の人口を増やす施策や継続的な振興に結び付くよう、「人生支援計画」として若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる施策を実施します。人口定着、転入促進、転出抑制に向けて、国や県と連携し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることのできる環境をつくりだすことを目指し、以下の基本的方向により取り組んでまいります。

①人生をトータルでサポートする体制づくり

○香南市人生支援計画に基づき、若者の出会いの場づくりや子どもを安心して生み育てられる環境づくりなど、市民の人生をトータルでサポートする行政の体制づくりを目指します。

②子ども、子育て支援・環境の充実支援

○家庭・地域・学校の連携・協働を進めることで子どもから高齢者まで様々な人が参加・交流し、地域を活性化させ、子育てを中心とした地域社会のつながりの再生を促進します。安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備します。

3-3. 具体的施策と重要業績評価指標(KPI)

(1) 人生をトータルでサポートする体制づくり

(1) 人生をトータルでサポートする体制づくり

① ライフステージに応じた切れ目ない支援

幼年期から高齢期までのライフステージの各段階に応じた切れ目のない対策を進め、市民が希望を地域社会とともに共有しあえるきめ細かな支援による持続可能なまちづくりを目指します。人生をトータルでサポートすることで、いきいきと健やかな人に優しいまちづくりや安心して生きがいを感じられるような環境を創出し、「香南市に住んで良かった」と思える「人生支援」を行います。

また、香南まるごとポイント制度(仮)を創設し、幅広い年代層が楽しみながらポイントを活用できる仕組みづくりを検討していきます。

<KPI>

■ 人生支援計画についての相談件数	H31 年度 20 件
-------------------	-------------

(具体的な事業)

- ・ 人生支援計画
- ・ 香南まるごとポイント制度事業(仮)
- ・ ウォーキングロード及びサイクリングロード整備事業 (再掲) 等

② 若者の出会いの場づくり

香南市では、若者の結婚への希望をかなえるため、県や観光協会などと連携して、独身男女の出会いの場づくりや、結婚への支援を行います。また、結婚を望む若者だけでなく、地域の人々などを含めた若者の結婚に対する機運を市民共通の認識とするよう努めてまいります。人が出会い、交流し、新しい家庭を築き、地域のにぎわいと幸せを感じる地域社会の形成づくりを支援します。

<KPI>

■ 出会いの場の開催回数	H31 年度 3 回
--------------	------------

(具体的な事業)

- ・ 若者の出会いのきっかけとなる交流助成事業
- ・ 結婚機運の醸成(ライフプランセミナー開催) 等

(2)子ども、子育て支援・環境の充実支援

(2)子ども、子育て支援・環境の充実支援

家庭・地域・学校の連携・協働を進めることで子どもから高齢者まで様々な人が参加・交流し、地域を活性化させて、子育てを中心とした地域社会のつながりの再生を促進します。安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備します。

①子育てを支える地域の育成

子育て家庭の孤立が問題となっていることから、子どもや子育て家庭への支援として、家庭・地域・学校の連携・協働を進めることで子どもから高齢者まで様々な人が参加・交流し、地域を活性化させて、子育てを中心とした地域社会のつながりの再生を促進します。

地域における子育て支援を推進するため、行政、関係団体が協働して子育てを支援するネットワークの構築に努めます。

<KPI>

■学校支援地域本部設置数	H31年度 8校 (H26実績 4校)
--------------	---------------------

(具体的な事業)

・学校地域支援本部設置事業 等

②子育て施策の充実

子育てしながら働く家庭が安心して働き続けられるよう、保育サービスや子育ての経済的負担の軽減、安心して子育てできる生活環境の整備等を行います。

誰もが安心して子どもを産み育てることができ、子どもがいきいきと健やかに育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら妊娠・出産・育児・就学前保育・教育を香南市がサポートしていく施策を展開します。また、子育てしやすい環境づくりを進めるため、子育て情報を掲載した子育てガイドブックを作成し、市のホームページ(子育て情報サイト)でも情報を発信していきます。

香南市の子どもが、のびのびと育つことを目的に様々な場面で支援を行う「こうなんっこ夢実現プロジェクト」(仮)の実現に向けた検討を行います。

<KPI>

■乳児家庭訪問回数	H31年度 345回 (H26実績 334回)
-----------	-------------------------

■地域子育て支援センター利用者数	H31年度 7,000人 (H26実績 4,010人)
------------------	-----------------------------

■市のホームページ(子育て情報サイト)のアクセス回数	H31年度 6,000回 (H28年度から実施)
----------------------------	--------------------------

(具体的な事業)

・妊婦健康診査事業・乳幼児健診事業・乳児家庭全戸訪問事業・パパママ教室・各種相談事業

・地域子育て支援センター事業・子育て支援事業・乳幼児医療費助成制度の拡充

・多子世帯保育料等軽減事業・こうなんっこ夢実現プロジェクト事業(仮) 等

③多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充

安心して子どもを生み、育てる環境づくりを進めるうえで、仕事と子育ての両立支援は大きな課題であることから、仕事と子育ての両立が図れるよう、教育・保育施設の拡充とともに、病後児保育事業など地域子ども・子育て支援事業の拡充に努めます。

<KPI>

■保育所の預かり数(子どもの一時預かり)	H31年度 838人 (H26実績 826人)
■児童クラブの利用者数	H31年度 385人 (H26実績 330人)

(具体的な事業)

- ・放課後児童クラブの充実
- ・一時預かり保育の実施 等

基本目標 4

時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる

4-1. 【基本目標1】の数値目標

数値目標	基準値(H26)	目標値(H31)
自治会、協議会結成率	①協議会 47%	①協議会 100%
	②自治会 61%	②自治会 100%
自主防災組織結成率	89%	100%

4-2. 基本的方向

中山間地域においては、過疎や高齢化、また、市街地においても空洞化、核家族化などにより、集落・地区のコミュニティの状況が大きく変化しています。

このため、自治組織等の地域単位でのコミュニティ意識の醸成を図るとともに、地区活動への参加を促進し、自治機能の強化を図るまちづくりを進める必要があります。また、住民が安心して暮らすことができるためには、まず、防災のまちづくりを進めなければなりません。

地域の活性化と振興に寄与するため大学との連携も行い、時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもることを目指し、以下の基本的方向により取り組んでまいります。

①協働のまちづくりの推進

○地域コミュニティの維持や活性化を促進する、地域の仕組みづくりを支援していきます

②災害に強いまちづくり

○診断士を派遣し診断、耐震化のための工事費に対する補助金など、個人住宅の耐震化を促進するとともに、各地域の防災体制づくりのリーダー育成の研修など、地域の自主防災組織づくりへの支援、災害時の地域の支え合い体制の強化を図ります。

③交流人口拡大

○地域と協働し、活動拠点としての集落活動センターの運営体制や組織の強化を図ります。また、歴史・食・体験などの地域資源活用など、交流人口の拡大のための拠点づくりや強化を進めます

④大学との連携

○香南市の中山間地域の再生と持続可能な地域の構築に向けて、地域の活性化と振興に寄与する事業推進のため大学と連携し、多様な分野で事業に取り組みます。

4-3. 具体的施策と重要業績評価指標(KPI)

(1) 協働のまちづくり推進

(1) 協働のまちづくり推進

① 住民との情報交換

まちづくりにおいて、市民と行政が一緒に考え、取り組むための体制づくりを推進していきます。また、情報公開を推進、市民との情報共有を図り、各地域での地区懇談会開催など、市民と行政のコミュニケーションを図ります。

<KPI>

■地区懇談会開催回数	H31年度 毎年開催の継続
------------	---------------

(具体的な事業)

・地区懇談会、地区懇談会カルテ 等

② 地域活動の支援体制強化

地域での生活をみんなで楽しめるような様々な行事を行い、住民の交流が深められ、住みよい生活を実現する。地域の人々が生活環境をより良くしていくために、その地域の課題についてみんなで考え目的達成に向けてともに行動していく。隣同士の助け合いによって、住民が相互に助け合い、理解を深める。公園や地域内の清掃・美化、防災・防犯活動など、行政と協働して対応する。等々、多様化する地域の生活課題に密着した地域活動が行えるよう、自治会や協議会等の活動支援に努めます。

また、年6回協議会長を集めた香南市まちづくり評議会を開催し、市民と行政が「協働」で地域課題を解決する仕組みづくりに取り組みます。

<KPI>

■組織の設立数 □協議会 □自治会	H31年度 □19組織 □98組織
-------------------	-------------------

(具体的な事業)

・香南市地域活性化総合補助金事業
 ・香南市まちづくり評議会の開催 等

(2) 災害に強いまちづくり

(2) 災害に強いまちづくり

① 耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実

県登録の診断士を派遣し診断、耐震化のための工事費に対する補助金など、個人住宅の耐震化を促進します。また、L2 想定避難者数(12,000 人)1日分に対応した食料、水、毛布等の備蓄を進めます。

<KPI>

■耐震診断件数	H31 年度 1,303 件 (H26 実績 803 件)
■備蓄率(食料・水・毛布)	H31 年度 85% (H26 実績 42%)

(具体的な事業)

・住宅耐震化促進事業 等

② 自主防災組織の設立・活性化

自主防災組織に対して資機材の購入等にかかる助成や各地域の防災体制づくりのリーダー育成の研修など、地域の自主防災組織の設立や充実を支援します。

<KPI>

■リーダー育成研修の参加組織数	H31 年度 53 組織 (H26 実績 23 組織)
-----------------	-----------------------------

(具体的な事業)

・地域防災対策補助事業
 ・香南市みんなで備える防災総合補助金 等

③ 災害時における地域の支え合いづくり

具体的な避難支援プラン「個別計画」の作成や具体的な避難マニュアルの作成。また、保育所・幼稚園・小学校・中学校でも災害予防対策・危機管理体制を確立させ、子どもの安全確保に努めるなど災害時の地域の支え合い体制の強化を図ります。

<KPI>

■香南市災害時要配慮者避難支援プラン(個別計画)作成件数	H31 年度 100%
------------------------------	-------------

(具体的な事業)

・災害時要配慮者の避難支援プラン「個別計画」の作成 等

④消防・防災対策の強化

地震津波等や大雨による水害に備えるために、消防団の充実強化、地域防災体制の整備、強化が求められています。また、地域防災計画や業務継続計画等の各種計画を作成し、内容を広く住民に広報すると共に更なる住民の防災意識の啓発を行います。

将来の地域防災の担い手を育てる基盤的活動や香南市総合防災訓練などの各種訓練を実施し、消防・防災意識の強化を図ります。

<KPI>

■香南市総合防災訓練参加者数	H31年度 7,500人 (H26実績 5,686人)
----------------	-----------------------------

(具体的な事業)

・香南市総合防災訓練 等

(3)交流人口拡大

(3) 交流人口拡大

①集落活動センター(小さな拠点整備)

香南市ではじめての「小さな拠点」である西川地区集落活動支援センターの活動を、県と連携して支援し、運営体制の強化を図り、地域活動の拠点としての組織の強化を図ります。

また、西川地区集落活動支援センターに続く新たな集落活動センターの設立に向け、県と連携を図りながら、地域の実情と特性を生かした組織の確立を目指して、地域住民と協働して取り組んでまいります。

<KPI>

■集落活動センター設置数	H31年度 2箇所
--------------	-----------

(具体的な事業)

・集落活動センター推進事業 等

②地域団体の活動促進、支援充実

市民が主役のまちづくりの推進を図るため、市民自らがまちづくりについて考え、自らの手でよりよいまちづくりを進めていこうとする団体活動を支援します。

<KPI>

■地域活動団体の育成数	H31年度 3団体
-------------	-----------

(具体的な事業)

・市民主役のまちづくり支援事業 等

③歴史・食・体験等による交流人口の拡大

歴史、食、体験といった地域資源を活用し、交流人口拡大のための拠点づくりや拠点のネットワーク強化を図ります。高知中央広域定住自立圏の特色を活かした取り組みを進め、広域観光を推進します。

<KPI>

■観光客入込数	H31年度 800,000人(H26実績 602,000人)
---------	--------------------------------

(具体的な事業)

- ・歴史・食・体験等による交流人口拡大事業
- ・広域観光推進事業 等

*高知県産業振興計画 地域アクションプラン No.24「広域観光の取組の推進」

(4)大学との連携

(4)大学との連携

①大学との連携

香南市と高知大学は平成20年9月12日、相互に連携し、地域の活性化と振興に寄与するため、協定を締結しました。本協定により香南市と高知大学は、事業推進のため連絡協議会を設置し、中山間地域の再生と持続可能な地域の構築に向けて、多様な分野で事業に取り組んでまいります。

<KPI>

■学生の参加回数	H31年度 150回
----------	------------

(具体的な事業)

- ・教育及び研究に関すること
- ・学生の地域学習及び研究機会の拡大に関すること
- ・商品開発など
- ・農林水産業及び地域振興に関すること 等

*高知県産業振興計画 地域アクションプラン No.25「大学生による地域応援団(サポーター)づくり」